

テーマ自由枠の進捗状況及び今後のスケジュール(案)

1. 進捗状況概要

テーマ自由枠運営の進捗状況を以下に示す。

- ・4月下旬から1ヶ月間、テーマ自由枠として実証対象技術を公募したところ、4件の申請があった。
- ・実証運営機関により追加情報として関連する公開情報の収集及びヒアリング等調査を行った。
- ・分野見直し及びテーマ自由枠小委員会を開催し（7月6日）、申請書及び追加情報等をもとに委員からの検討・助言をいただき、審査を実施し採択技術を選定した。
- ・審査の結果、1技術は科学的な原理説明が困難な技術として不採択とし、他の3技術はすべて採択とした。
- ・環境省内での決裁手続きが終わり次第、実証機関の公募を行う予定である。

以下、内容を報告する。

2. テーマ自由枠対象技術の公募及び申請について

2.1 申請の受付期間

平成28年4月25日（月）～5月27日（金）17:00まで（必着）

2.2 申請の受付方法及び記載内容

環境省環境技術実証事業ウェブサイト (<http://www.env.go.jp/policy/etv/>)、もしくは実証運営機関である株式会社エックス都市研究所のホームページより応募用の申請書を配布し、郵送にて提出を受け付けた。申請に必要な記載事項及び添付資料を以下に示す。

【実証申請書記載事項】

- ・申請者：企業名・住所・担当者所属・担当者氏名等
- ・申請技術：技術の原理・仕様・製品データ、技術の特徴・長所・セールスポイント・先進性、開発状況・納入実績、コスト概算、環境影響について
- ・自社による試験方法及び結果（性能の自主公表値と根拠）
- ・計測器等の設置状況、仕様、精度
- ・その他（特記すべき事項、実証機関が要求する事項等）

【添付資料（様式自由）】

- ・実証対象製品情報：
構成機器の仕様、計測器の仕様・精度、設備構成図等、実証対象製品及び計測器の内容が把握可能なもの、及び施工マニュアル など

2.3 申請の受付結果

全4社から申請があった。

3. 申請技術の審査について

3.1 公開情報の収集及びヒアリング等調査の目的

テーマ自由枠の申請技術の審査、及び実証機関の公募を行うにあたり、以下を目的として、公開情報の収集及びヒアリング等調査を実施した。

- ・ 申請書類の信頼性等の確認
- ・ 審査に必要な情報の取得
- ・ 既存技術分野との関連性に関する情報の取得
- ・ 実証機関の公募のための情報取得（実証項目、実証方法、実証費用）
- ・ 想定外事象の未然防止のためのコミュニケーション

3.2 公開情報の収集及びヒアリング等調査の方法

ヒアリング等調査対象者は、実証申請者及び当該分野の有識者4名とした。

- ・ 事前調査は申請書類及びインターネット調査をベースとした。
- ・ 申請者へのヒアリング調査は面接形式もしくは電話調査とした。
- ・ 有識者へのヒアリング調査は訪問調査もしくは電話調査とした。

3.3 申請技術の審査要件

実証運営機関は、申請された内容に基づいて以下の観点に照らし、実証運営委員会及び実証技術分野見直し及びテーマ自由枠運営小委員会等の意見を踏まえ、本事業に対する理解等も含め総合的に判断した上で対象とする技術を審査し、選定した技術について環境省の承認を得る。

(1) 形式的要件

- 申請内容に不備は無いか
- 商業化段階にある技術か
- 同技術について過去に公的資金による類似の実証等が行われていないか

(2) 実証可能性

- 予算、実施体制等の観点から実証が可能であるか
- 実証項目や実証試験方法が提案されているか
- 実証試験計画が適切に策定可能であるか

(3) 環境保全効果等

- 技術の原理・仕組みが科学的に説明可能であるか
- 副次的な環境問題等が生じないか
- 環境保全効果が見込めるか
- 先進的な技術であるか。

3.4 申請技術の審査結果

いずれの技術も審査要件（１）形式的要件、（２）実証可能性については問題ないと考えられた。しかし、（３）環境保全効果等については、申請 No. 2 において、技術の原理・仕組みが科学的に説明困難であると判断して不採択とし、他の 3 件の技術を採択した。

なお、採択したいずれの技術も、現在実施中の技術分野及び休止中の技術分野に該当せず、「新たな特定技術実証」として、国負担体制のもと、実証機関を公募・選定することとする。採択した実証対象技術と予算額は、表 1 の通りである。

表 1 テーマ自由枠として採択した技術及び予算額

実証対象技術	予算額	実証申請者名と実証対象製品名	備考
1-1) 空冷室外機の吸引温度低下による空調負荷軽減技術	1-1、1-2 合わせて 290 万円 以下	実証申請者名： 株式会社ヤブシタ 実証対象製品名： Short-cycle Stopper & Sun Shade	※平成 28 年度は計画策定まで
1-2) クリーニング乾燥機の排気顕熱回収による運転負荷軽減技術		実証申請者名： 有限会社ウィンダム 実証対象製品名： 熱交換ダクト ヒーコス HC230-D	
2) 使用済み紙おむつ中の高分子吸収体の脱水処理による焼却負荷軽減技術	350 万円 以下	実証申請者名： 株式会社メセナ 実証対象製品名： 使用済み紙おむつ脱水脱塩処理システム	

4. 実証機関の公募について

実証機関公募の手続きが完了次第実施する。公募期間は、7月下旬から8月下旬までの1ヶ月間程度を予定している。実証項目や実証試験の方法については、申請者に具体的に提案していただく。その際、表2に示す実証項目の候補を参考として提示する。

なお、最終的な実証項目や実証試験の方法は、選定された実証機関が、技術実証検討会の検討・助言を踏まえつつ、実証試験計画を作成していく中で決定する。

表2 各実証対象技術における実証項目の候補

実証対象技術	分類	実証項目の候補	試験方法の区分
1-1) 空冷室外機の吸引温度低下による空調負荷軽減技術	吸引温度低下性能	吸引温度低減率：室外機吸引口温度	フィールド試験
		消費電力削減率：消費電力量	フィールド試験
1-2) クリーニング乾燥機の排気顕熱回収による運転負荷軽減技術	排気の顕熱回収性能	排気の顕熱回収率： 排気と吸気の温度、排気風量	フィールド試験
		燃料消費量削減率： ガス燃焼量	フィールド試験
2) 使用済み紙おむつ中の高分子吸収体の脱水処理による焼却負荷軽減技術	脱水脱塩性能	高位発熱量、水分、灰分、塩素分	フィールド試験
		臭気、騒音	フィールド試験
	運転及び維持管理性能	排水等の汚濁負荷排出量 (BOD)	フィールド試験
		消費電力量	フィールド試験

5. 今後のスケジュール

7月25日～ 実証機関の公募

9月9日 分野見直し及びテーマ自由枠運営小委員会の開催（実証機関の審査・選定）

表3 テーマ自由枠運営における年間スケジュール

